

2016年核セキュリティ・サミット

大量破壊兵器・物質の拡散に対するグローバル・パートナーシップによる声明

大量破壊兵器・物質の拡散に対する グローバル・パートナーシップ（GP）のパートナー国である我々は、核セキュリティ・サミットの目的やコミットメントを支持しつつ、パートナー国及び関連する国際機関の間で、非国家主体が大量破壊兵器を取得することを防ぐプロジェクトを展開・実施し、リソースを含めたプロジェクトの調整を行うことを目的とした努力を継続する意図を表明する。

GPの主な関心分野の一つは、とりわけ核セキュリティ関連のプログラムや活動についてのパートナーシップ、協調、協力を構築するために有益な基盤を提供することを通じて、核・放射線セキュリティを強化し、また非国家主体によるこれら物質の入手を防ぐことである。GPの枠組みの中で、単独あるいは共同で出資されたプロジェクトが、核・放射線セキュリティに関する支援を要請した国において実施される。

我々は、この多国間のイニシアティブに参加していない国々との協力の機会を追求し、核セキュリティ・サミットに参加した首脳によるコミットメント、特にGPを支援するためのアクション・プランの実施のために共同作業を行うことへの関心を表明する。

2014年以来、GPのパートナー国は、多くのテーマ別分野における核セキュリティ強化のための二国間・多国間の貢献に加え、世界的な核セキュリティの枠組みにおけるIAEAの中心的役割の支援を目的としたIAEA核セキュリティ基金に対して4,700万ユーロ以上の貢献を行った。特に、この基金の枠組みで実施される重要なプロジェクトは、自発的貢献のみにより実施されているため、我々はこのような支援の継続を歓迎する。我々は、国連安保理決議第1540号を実施する我々のマンデートを満たすために、支援要請と国際的支援の申し出を調和させる我々の活動を国連安保理の1540委員会と連携させる意図を有する。

また、我々は、核物質防護条約改正の迅速な普遍化と実施を促進するための支援を提供し、核テロリズム防止条約といった国際的な合意に参加する国に対する支援を行い、また、放射線源の安全とセキュリティに関する行動規範にコミットするよう各国に奨励する。